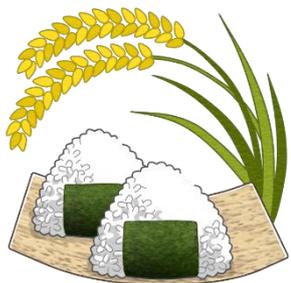




いよいよ、秋も深まってきます！



日本では古来から、旧暦9月を長月（ながつき）と呼び、現在では新暦9月の別名としても用いています。

長月の由来は、「夜長月」（よながつき）の略であるとする説が最も有力ですが、他に「稻刈月」（いねかりづき）が「ねかづき」となり、「ながつき」となったとい

う説や、「稻熟月」（いねあがりづき）が略されたものという説もあります。いずれにしても、我が国の主食である稲の成長と深く関係していることが分かります。

こう考えてみると、私たちの毎日の生活が、四季の移り変わりに伴って営まれていることが分かり、自然の偉大さに毎日、感謝をしたり、畏敬の念をもって過ごしたりした古人（いにしえびと）の思いが伝わってくるようです。ですから、特に9月は、四季のある我が国の良さを子どもたちに十分に味わわせながら、学習活動を展開したいと思っています。

まだ残暑は残っていますが、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるお彼岸に向けて、徐々に秋が深まってきます。野山も色づきを少しずつ始めて、「灯火親しむ秋」、「読書の秋」とか「スポーツの秋」とも言われるように、勉強に、運動に絶好の季節となってきます。本校の教育目標である「心豊かで心身ともにたくましい児童の育成」に向かって、全職員で進んでまいります。保護者の皆様をはじめ地域の方々のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 藤井 朗

「海の学習」で学んできました！



カッター訓練

砂の芸術

みんなで心をひとつに
「よお〜い…しょ！！」

5年生4クラスが玉野市「渋川青年の家」で、『海の学習』を学んできました。砂浜での「砂の芸術」と厳しい指導の「カッター研修」の2つの体験活動の中で、頻繁な水分補給などの熱中症対策と感染症対策を十分に施しながら、海の生活信条「秩序」「友情」「実践」を学んできました。